

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

9月号(NO48)通巻 198号

2022年9月10日(土)発行(毎月10日)

【農暦】雷の多い年は豊作になるという伝承が！

○立秋から一ヶ月になるが、蝉の鳴き声、虫の音も何となく秋を告げているように聞こえる。だが酷暑も、激しい雨も、そして冷気の時もある。稲穂は頭を垂れ、刈り取りもはじまっている。季節感は惑わされるばかりである。入道雲は秋の空ではない。温度差ストレスで体調を崩すとテレビで言っていたが、こんな気候では身体もおかしくなる。だが、秋は確実に近づいているように感じる。もう少しの辛抱である。

○昨夜(8日)は激しい雨と共に雷鳴が轟いた。ガラスが雷鳴のたびにビリビリと振動した。雷雨でしばらくは眠れなかった。雷の多い年は豊作になるという伝承があると聞くが、根拠はある程度はあるようだ。稲妻が空気中の窒素を酸化させ雷雨が田畑に運ぶ。肥料の乏しかった時代では豊かな実りに繋がった可能性がある。



<今年も百合>18日撮影

○科学的根拠はともかく、高温に晒され乾燥した畑には雷雨は恵みの雨である。作物が元気に見える。草は明らかに繁茂力をアップしている。伸び方の違いを実感する。雨の後の草の伸び方に圧倒される。今年は日照りが多く、雨対策なしのトマトが比較的良く出来ていた。雨が何日が続いた後のトマトが見事に割れていた。ミニトマトの一部も割れていたのには驚いた。作物は環境に敏感に反応する。自然の凄さの一部を見たような気がした。

○蔓なし隠元は僅かに実を付けているが生育が悪い。黒豆、小豆の実が付かない。豆類は根粒菌があり、空気中の窒素を固定するので、肥料要らずと言われている。肥料不足を懸念して鶏糞堆肥を少し入れたのが悪かったのかと心配している。また暑さも尋常ではなかったもので、そのためかと思っている。ここに来て花を付けている。実りを期待できそうである。



<ミニトマト>29日撮影

○薩摩芋の試し堀をした。葉が虫と日照りで弱っていたの心配していたが、小振りなものも多かった美味しく頂いた。つる首カボチャも実を付け始めた。大根と白菜の種まきが出来なかったのが残念である。だが、草刈りを頑張った。段々まともな菜園にして行きたいと思っている。(了)

【楽農】<畑>、トマト、ピーマンを少しづつ収穫、薩摩芋の試し堀。

蔓植物の刈り取り、草取り、草刈りを繰り返し実施。

【楽市】イベントなど；川柳の会(1日)*身近にコロナ、葬儀が重なる。

【つぶやき=Tweet】おれたちは国家に雇われ、大臣に雇われているわけじゃない！

○西村経産相の出張マニュアルが話題になったが、9日の天声人語に江戸時代の殿様付きの藩士のマニュアルのようだと書かれていた。「徳川時代の藩士らも舌を巻くほど精緻な勤務マニュアルを経産省の現役職員が作っていた。〈略〉いわく大臣は土産購入が多いので荷物要員を置くこと。帰路の駅では弁当購入部隊とサラダ購入部隊の二手で対応すること。〈略〉大臣のトリセツ作りが国家公務員の本分だとはやはり信じたくない。▶〈おれたちは国家に雇われている。大臣に雇われているわけじゃない。城山三郎さんの名著『官僚たちの夏』で主人公の通産官僚が若手に言い聞かせる。〉そして「サラダ購入部隊に入った官吏はどんな心境か」で結んでいる。少し前になるが、被災県訪問で先に待機していないと知事を叱った大臣がいた。在日の大使を呼びつけ無礼者と云った大臣がいた。日本の大臣は殿様なのかもしれない。困ったものである。



〈にらの花〉28日撮影

○殿様大臣のことだけではないが、政治（家）の劣化は止まらない。野党の与党化が拍車をかけているのかも知れない。最近のニュースで思い知らされるものが多い。統一教会問題は凄惨、射殺事件が起きて、問題が発覚したが、事件が起きなければ、そのまま続いたと思うとゾ〜とする。被害者が続出していたのにマスコミはとりあげなかった。とりあげられなかったのかも知れない。法の支配と言いながら、法破り？の既成事実の積み上げの政治が続いている。



〈薩摩芋試し堀〉30日撮影

○安倍国葬もそうである。法的根拠？で告訴もあり、反対署名やデモもある。世論半数は反対している。詭弁を弄しいるようにしか聞けない？今日も国会答弁をしている。世論も国民もマスコミが報道をやめ、一時が過ぎれば忘れられると思われている。腹が立つ。国葬費 16、6 億円

も五輪予算と同様で膨らむという。コロナ禍で、物価高で生活に窮してる人や統一教会被害者のことを考えると許し難い。5万円給付は無より増しの騙し玉だ。一時で消える。

○海外では物価高に、アメリカでは墮胎罪を巡って政治の流れが変わろうとしている。日本国民は従順過ぎるように感じる。“少しは悪いことが出来ないようでは国のリーダーシップはとれない”と、そんな発言を聴いてびっくりしたが、日本人は上に従順で下には厳しい人が多いようだ。日本人の良さもあるのだが、お上に、の意識は変えたいものである。

○コロナも、ウクライナも、覇権主義も、温暖化も、グローバルの世界でしか解決しない。海外の視点を持ちたいものである。それにしても四分の一が 100 万円以下の無税世帯とは？また、こんな話にしてしまった。(了)

○断捨離考：身近にコロナ、葬儀で後退気味。

【後記】政治問題に身近問題多し！【HP転載】

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com